

く俳句く

立夏

木々朗

新若布浸せば直ぐに海の色

大和路や山を間近に蕨餅

新茶汲むチェンバロの音の耳もとに

もてなしに新茶の香り和みけり

湾岸の青き空より夏に入る

皐月 雑詠

細田 安治

ビルの空 鯉はどこぞと 天仰ぐ

マンションの 窓にこわごわ 鯉泳ぐ

緑萌え 樹々動かすは 初夏の風

足早に ラジオ体操 元氣者

第四波 まんえん防止へ 大阪府

密集は ご法度かんかく 2メートル

